

福居

昭和62年3月10日発行
発行所
福井商工会議所青年部会
発行責任者
天野吉豊

主体的に今、青年部活動を！

福井商工会議所青年部会

会長 小川 修

私達は何故多忙な日常の中で、商工会議所青年部会に参加しているのだろうか。商工会議所は全国に四八五ヶ所あり、地域経済振興、中小企業育成、行政に対する提案等を通して、商工業界のリーダー的役割を果している経済団体であると思われま。

この商工会議所で青年部が設置されている数は、全国では二七二（設置率五・六％）全国商工会議所青年部連合会に加入している商工会議所青年部は一八三（未加入青年部は八九）であります。商青連が発足して未だ五年未満で設置率五・六％と伸直を示しているのは、その地域の特性とは関係なく商工会議所サイドから、又、参加会員の中からも商工会議所活動が真の意味でその事業を展開してゆくには、新しい時代に適應する鋭い感性と創造的な行動力を特性とする若手商工業者の層よりの提案と行動の必要性が痛感されているからであると考えられます。

一方私達は、日々の企業活動の中で個別企業の限界を至る所で痛感するわけでありま。私達の住む街がこれ位の規模であつたら、「私達の行政がこんな風であつたら」、「私達の住む街がこんなふうになつてくれたら」、「私達の企業活動をアドバイスしてくれるところは？」、こんな希望や意見を提案し、結実し、行動してゆく、その為に青年部会は選ばれた場であることとしたいと考えま。

第二に私達商工業に携わる若き経営者、幹部は常に個別企業の中で色濃い孤独を味わう事が多いわけでありま。又、孤高の戦いをすすめる事が私達の使命であると考えられます。この商工会議所青年部は、こうした経営者達の共通の悩みや課題を語りあい、批判しあい、許しあい、高めあう場として設けられた場であると考えられます。

第三に友を得る事のできる場

あると考えます。生きる為に最も必要な共感分かちあえる友を得て、相互の感性を柔らげ、明日への活動をみだしてゆくために選ばれた場であると考えます。美しいものを美しいと感じ、遊びの心を創造する「美感遊創の時代」といわれる時代を、今私達は「主体的に」なつてゆかなければなりません。「主体的に」事業を展開してゆく事、地域を活力あるものにしてゆく事は、感性豊かな私達がリードする事なくして、誰もありえないと考えます。

こうした観点をもつて、全国大会福井大会を成功に導いていったあの激しい気力と団結を改めてシンボルとし、あらたな仲間を呼びおこし、新しい提案と行動をしてゆくこととします。

尚、本年度は当所青年部会として、本部会員である古川伸二君を商青連会長として擁立するという栄誉を得ているわけでありま。商青連の全国的組織、整備、拡充に専念する同君を全面的に支援してゆく事を約束したいと考えます。

昭和六十二年二月十三日

全員参加で成功させよう！！

第10回市民の広場3/28(土)開催

テーマ 「特徴ある街づくりをめざして」

日時 昭和62年3月28日(土) 13時30分～16時30分
会場 福井商工会館 5階大ホール

62年度活動方針①

組織運営に関して

- 総務**
- ①組織整備・組織運営のマニエール化をはかる。―会員・会則・手帳・名簿・事務局統括
 - ②例会内容の充実をはかる―例会開催・企画・運営
 - ③財務内容を明確にし、計画的運用をはかる。―財務管理
 - ④例会・各委員会・各事業についての出席率の向上をはかる。―誘い合わせ活動、例会実現のサポート
- 広報**
- ①福居の発行を通して、青年部活動の対外PR・対内調整理解をはかる。―毎月1回の発行
 - ②青年部活動の対外PRのため、専任スタッフを置く。―スポンクスマンの設定
- 研修**
- ①個人個人の資質の向上につながる研修の企画運営―部会内研修
 - ②商青連・県連の企画する研修、大会や友好団体などとの交流の促進―部会外研修

親睦

- ①会員相互の親睦・会員家族・友好団体などあらゆる親睦に関することの企画・運営―親睦
- ②会員の体力増進、健康管理に関する企画運営―ヘルス
- ③全国商工会議所青年部連合会会長古川氏の擁立青年部会としての全国大会・ブロック大会・県連などの事業のための推進協力スタッフを置く。

62年度活動方針②

事業活動について

- ①おまつり(なんでもおみこしコンクール)を見直し、町の商工会の心意気を示す為のイベントとして何がよいかを、行政・商工会議所と協力しながら新しい展開を検索してゆく。―おまつり活性化プロジェクト
- ②沈静化しようとしている福井という地域を本当に活性化してゆく手法とは何か。青年部が主体として提言した足羽三山の総合開発計発計画をうちだした。その後、発売したコンベンション

2月度例会

検討委員会の活動と協力しい、地域活性化の主体事業を追求してゆく。―地域活性化プロジェクト

③その時その時を優れた感性でとらえた経済、社会的問題を鋭く内外に提起し、検討してゆく場を設け意見具申をはかる。―市民の広場プロジェクト

④64年にむかえようとしている福井市制100周年を期して、行政だけの行事ではなく、我々の街の記念行事として我々の力では何が出来るか、又、行政商工会議所へ何が提案できるかを検討追求してゆく。―市政100周年記念プロジェクト

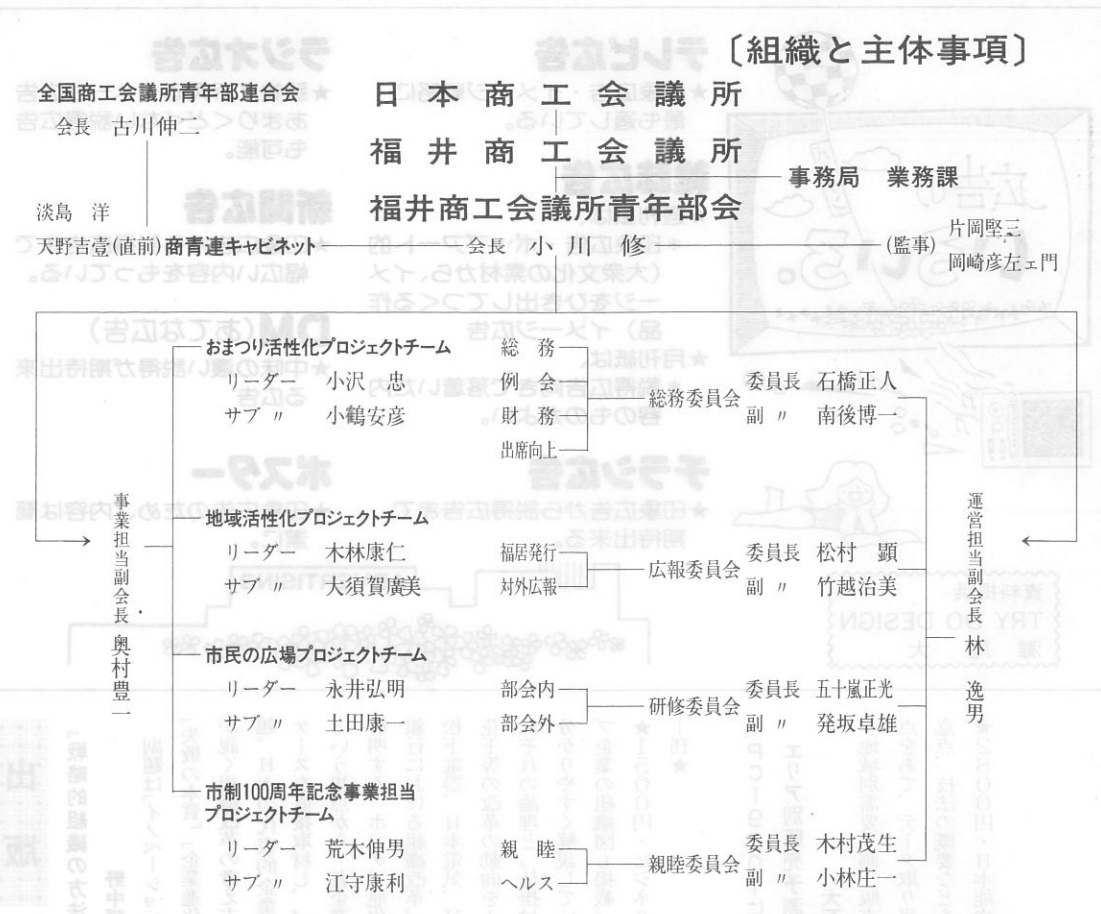
福井商工会議所青年部会の2月度例会が二月二十七日、商工会館議員サロンで開かれた。はじめに岡崎副会長、つづいて小川六十二年度会長のあいさつがあった。

議題にはいり、永井街づくり委員長より、第十回市民の広場について概要説明があった。その後、「福井の街」についてグループ討議が行われ、まとめが発表された。その中で、★路線バス等の交通の便が悪い。★公共施設の利用が不便。★街づくりに対する関心度の問題。★基幹産業、商店街に活気が無い。★行政の老齢化。★長期展望に立った都市計画が無い。★方向性としては観光都市、文化、学術都市を目指す等の意見が出された。又、大須賀街づくり委員から、都市開発の中で建築物、広場等にアート感覚を入れ、芸術、文化都市へ向けてのアートシティ構想の提案があった。

最後に、「市民の広場」を成功させる為に全会員が一丸となって取り組む事を確め合い例会を終えた。



〔組織と主体事項〕



みなさんよろしく

―新会員プロフィール―

- 磯川 賢一**
昭和二十二年九月一日生
(株)磯川建設
福井市福町二八―四九
電話 三五―二九四二
- 佐々木清史**
昭和二十八年三月六日生
北陸キャンコピア販売(株)福井
福井市木田一丁目三三〇五
電話 三五―〇〇一五
- 三好 清明**
昭和二十四年十月五日生
(株)三興福井支社
福井市田原二一三―五五
電話 二二―四三九三
- 中村 秀一**
昭和二十六年三月二十六日生
中村村屋精肉店
福井市市のり二二五―一五
電話 三六―二六六四
- 立平 昇司**
昭和二十六年五月九日生
北陸銀行福井支店
福井市中央一七―一五
電話 二四―五五五五

防水のことなら、なんでもご相談下さい
東 西 住 様 | アスファルト防水・パンテック防水
南 西 住 様 | シート防水(ネオルーフィング、ロンダルーフ、DNシート防水)
レキ セイ

北川瀝青工業株式会社

福井営業所
所長 野路 一美

本社/金沢 支店/新潟 営業所/富山・神戸

0112-83 福井市高木町51 ☎(0776)54-2266(代) FAX 54-2352

ハイ・クオリティな空間を創造し、QCDSを追求します

- 本格木造耐雪住宅
- セキュリティ住宅
- 鉄骨鉄筋耐雪住宅
- 外壁通気構法住宅
- ファッション住宅

Quality ― 高品質
Cost ― 低コスト
Delivery ― 耐久
Safety ― 安全

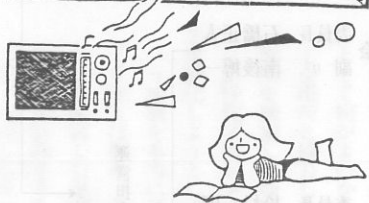
建築・不動産の総合プランナー

大須賀建設株式会社

建設業(特)594
宅地建物取引業567
一級建築士事務所 い-629

本社/福井市花堂東1-4-4 TEL 35-8818(代) FAX 36-7341
分室/福井市板垣5-1015 TEL 35-0092(代)

(取寄料主)



資料提供
TRY DO DESIGN
灘尾大

テレビ広告

★印象広告・イメージ戦略に最も適している。

雑誌広告

- ★週刊紙は、
 - *印象広告・ポップアートの(大衆文化の素材から、イメージをひき出してつくる作品)イメージ広告
- ★月刊紙は、
 - *説得広告向きで落ち着いた内容のものがよい。

チラシ広告

★印象広告から説得広告まで期待出来る。

ラジオ広告

★聴覚に訴えるイメージ広告あまりくどくない説得広告も可能。

新聞広告

★印象広告から説得広告まで幅広い内容をもっている。

DM(あてな広告)

★中味の濃い説得が期待出来る広告

ポスター

★印象広告のため、内容は簡潔に。



出版

『戦略的組織の方法論』

野中都次郎著

副題は「イノベーションをかる」。

「失敗の本質」「企業進化論」著者が説く組織改革の考え方とその課題。日本の代表的企業十数社のケースを直接取材し、「情報創造」という視点から、各企業の改革を解明する。ホンダ、旭化成、三井銀行における組織改革。NTT、松下電器、日本電気、HOYA、花王等の改革の動向をふまえ、それぞれの論理と「仕掛け」を分析分かりやすく解説している。トップ企業の組織図も掲載。

★1500円・ビジネス・アスキー刊★

『PC19801による

エリア別販売予測入門』

大石展緒著

地域別需要予測、販売予測に焦点をあて、データ取り扱以上の留意点、技法の概要などを解説。

★2800円・日本能率協会★

ちよっと「福」

ポスターの前を歩くとポスターがしゃべり出すという「音の出るポスター」が発売された。

「ポスター・ボイズ」がそれだ。たとえば、このポスターが掲示されている店の約2m前まで、お客が近づくと、自動的にその店の商品や、特長、目玉商品のアナウンスを始めるというもの。

このため、外食産業やレストランでは「○○キャンペーン実施中」とか、「本日のおすすめメニュー」など気軽に伝える事が出来る。

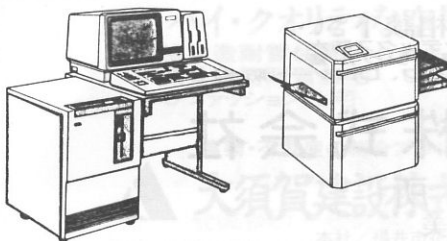
主な特長は、①従来のカセットテープと異なり、音声合成LSIを採用しており、半永久的に使用出来る。②瞬時に再生の頭出しができ、連続メッセージも可能。③メッセージタイムは32秒、2チャンネルで音声を選べる。④録音、即メッセージもOKの同時機能など。

居酒屋、レストラン、ホテルなどでかなりの反響があるとか。

◎問い合わせは「ヒクスター音響興業(大阪営業所)」

☎06(7600)7877

情報伝達の媒体として



最新ワープロ組版システムN5170モデル30導入

○企画・デザイン・写植・写真製版印刷

福井タイプ印刷株式会社

〒910 福井市二の宮1丁目6-19
TEL (0776) 23-5196(代)・FAX 23-5149